

市長就任 1年間の取組

令和8年7月10日

高岡市長 出町譲

基本理念

○税金の使い方のチェンジ

○対話

○議論の透明化

最初に 取り組んだこと

- 市長給料 40%減額
- 市長公用車の廃止
- 「チェンジ元年予算」の編成



対話の重視

○まちかどトーク

36地区のうち34地区を実施
残り2地区も7月中に実施予定



○小中学校まわり

全ての公立小・中・義務教育・特別支援学校を訪問

○職員意見、職員提案の活用

研修の機会も活用し、新規採用職員等との
意見交換を実施

外部有識者からの 知見の取込み

○市政特別アドバイザー、 政策アドバイザーの設置

市政特別アドバイザー：椎川 忍 氏

政策アドバイザー：稲田 祐治 氏、浦野 栄子 氏、
野村 将揮 氏、林 誠一 氏



○ビジネスサポート体制の構築

高岡まちなかスタートアップ支援施設

「TASU」所長：松田 洋祐 氏

民間企業との 連携

○新高岡駅の駐車場不足解消

イオンモールが自治体と連携して
駐車場を一般開放するのは全国初の取組



○次世代EVバスの1か月運行

ネッツトヨタ富山、イオンモール高岡、加越能バスの
協力のもと、高岡駅-新高岡駅間を運行

○移住・定住の促進（PFS手法の試行）

日本郵政グループと連携しPOSTUDIOで
本市の魅力を発信

震災からの 復興

○液状化対策の地元負担ゼロ

被災された方々の費用負担への
不安を解消し、着実な復旧・復興を推進



震災からの 復興

○復興会議の設置

有識者や被災地域の地域団体代表者等による
復興会議を設置し、新たな復興計画の策定に向けた
議論を開始

初会合で提言された伏木地区でのイルミネーションは、
わずか1か月で実現



震災からの 復興

○復興ベース（仮）の設置

○被災者交流会、相談会の開催

心の復興、コミュニティの再生



新婚世帯・ 子育て支援

○ゼロ歳児へのおむつ券支給

○医療的ケア児のサポート

○移住新婚世帯への家賃助成



古城公園

○古城公園の磨き上げ、 景観再生事業の加速化



市民に愛される公園としての魅力を高めるとともに、
高岡城の歴史的価値の磨き上げを推進

- ・ 高岡桜まつりライトアップ事業
- ・ 高岡城わくわくフェスティバル（入城記念事業）

医療

○公的 4 病院長との協議の場の立ち上げ

市民の安全・安心を支える地域医療体制を確保するため、
医療の最前線の皆様との議論を開始



公共交通

○交通事業者との勉強会

○市民にやさしい公共交通の実現に向けた
実証事業の実施

市民にとって使いやすく、持続可能な公共交通の
実現に向け、市と公共交通事業者が協力



教育

○「探究的な学び」の推進

モデル校での実践研究、各校への展開

○英語教育の充実

A L Tの増員、効果的な英語学習の推進

○公立大学設立の検討

公立大学設立の実現可能性を探るための
調査・研究に着手



公共施設

○庁舎整備の見直し

市の将来を見据え、より良い手法を柔軟に検討

○スポーツ施設整備の方針の打ち出し

総合体育館の整備に向けた

新体育館建設の議論をスタート

スポーツ施設を核とした新高岡駅周辺エリアの
交流促進を目指す



市政の方針

○総合計画基本構想の策定

今後10年間で目指す市の将来像を『住みたいまち 高岡』
とし、将来にわたって活力あるまちづくりに取り組む

